

「小さな本の展覧会 17」のご案内
「男らしさ」「女らしさ」から自由になるための言葉
～ジェンダーを知るはじめての一步～

ジェンダーは世界のニュースで日々耳に入る、今最も関心を集めるテーマのひとつです。ライフスタイルや価値観の大きな変化を実感するなか、生き方、働き方、子育てなど、今までの男女の役割を見直すきっかけになる本が多く出版されるようになりました。2022年3月、ジェンダーやフェミニズム関係の書籍がどれくらいあるか、日本書籍出版協会（書協）会員社に呼びかけたところ、50社から592冊のリストが集まりました。リストは「家・家族」「教育・社会問題」「ジェンダー・啓蒙」「仕事・生きがい」「フェミニズム」「文学・伝記」「歴史・民俗・宗教」等に分類してみました。このブックリストから、書協ならではの「ジェンダーを考える基本図書リスト」をつくれたらと考えています。

まずは上記リストをもとに、一般公募やBACH 幅允孝氏による選書も加え、書協と出版クラブライブラリー委員会の合同企画で、「小さな本の展覧会」を企画しました。ジェンダーを親しい人と一緒に考えるヒントになる、はじめての一步となるような本を100冊ほど展示します。フェミニズムは受け取る側によって温度差のある主題です。女性だけで眺めを決しても社会は変わりません。女性も男性も「なるほど！」と思える本、知っておきたい定番本も織り交ぜて展示します。

— 開催概要 —

テーマ：小さな本の展覧会 17 — 「男らしさ」「女らしさ」から自由になるための言葉
～ジェンダーを知るはじめての一步～

期 日：2023年11月1日（水）～30日（木）＜10:00～18:00 但し土・日・祝日は休館＞

会 場：出版クラブビル 3F ライブラリー ＜東京都千代田区神田神保町 1-32＞

神保町駅（東京メトロ半蔵門線、都営地下鉄新宿線・三田線）A5出口より徒歩2分

Map=<https://shuppan-club-hall.jp/access>

構 成：BACH 幅允孝氏 デザイン：重実生哉氏

主 催：一般社団法人日本書籍出版協会、日本出版クラブ ライブラリー委員会



クラブライブラリー全景

以 上

<問合せ> 一般財団法人 日本出版クラブ
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32
出版クラブビル 5F
TEL 03-5577-1771 / FAX 03-5577-1772
E-mail : zaidan@shuppan-club.jp

小さな本の展覧会 17 —「男らしさ」「女らしさ」から自由になるための言葉
～ジェンダーを知るはじめての一步～
開催に際して

ジェンダーという単語、ときどき耳にして知っているような知らないような。

ひと言でいうと、「社会的・文化的につくられている性」のこと。
ある時代のある社会において、
人々に期待され、許容され、評価される、考え方やふるまいを指します。

ときには、強制される社会的規範や性差にもなり、
さらに男女それぞれに与えられる機会や、男女間の関係性、
女性同士、男性同士の関係性、といった相互の関係を意味することも。

「男なんだからしっかり」「女は出過ぎないほうがいい」などと
耳にすることは減ってきましたが、じつは心の中で
その言葉が響いていることがあるのではないのでしょうか。

「男性らしい」「女性らしい」は
強力なパワーを持つジェンダーのカテゴリーのひとつ。
令和のいま、それらはすでに男性にとっても女性にとっても、他の性の人にとっても
知らず知らず重たく不自由なものになってきている気がします。

性もふたつに限らない時代です。
さまざまな関係性のなかでお互いを大切にするために
いまここになにがあるのか、私たちはなにを感じているのか、それはどこからきたのか…

ひとりひとりの違和感の理由や中身について、「知る」ことがはじめての一步になり、
互いに伝えるための言葉を得ることで、
一緒に考え、話し合うことができるのではないのでしょうか。
本がそのための力を与えてくれることを願って。